

西濃圏域 各医療機関の2025年に向けた対応方針【①今後の方向性】

NO	医療機関名	所在地	自施設の現状等	2025年に向けて担うべき役割等	病床機能等の見直し						
					① 病床 機能	② 病床数	③医療 機関の 役割	④ 連携、 再編	⑤ その他	⑥ 現状 維持	具体的な内容
1	医療法人社団豊正会大垣中央病院	大垣市	【現状、特徴】 2次救急病院としての役割とポストアキュート・サブアキュートとの連携とリハビリ強化による在宅復帰もしくは施設への復帰 【課題】 1次医療⇒2次医療⇒3次医療という医療の流れが来ていない地域であるので地域として確立する必要がある	回復期としての役割(稼働率) 2次救急病院として救急の受入れと時間外の受入れ 人間ドック・健診事業の強化 外来の強化	実施済み	実施済み					①令和2年8月に療養病床(慢性期)20床を一般病床(回復期)に転換 現在一般病床60床(内地域包括ケア32床)すべて回復期病床 ②令和2年8月に療養病床5床を削減65床⇒60床
2	金森病院	大垣市	【現状、特徴】 慢性期病棟として療養と看取りを主に行っている。 【課題】 医師高齢化や病棟の老朽化	病床を徐々に減らし、診療所へ転換していく。		○					減床予定
3	医療法人徳洲会大垣徳洲会病院	大垣市	【現状、特徴】 整形外科、脳神経外科、循環器内科は充実してきており地域から信頼されている。一方消化器内科等、内科系が充実していない。 二次までの救急受入れが増加している。 子育て看護師を支援している。 【課題】 看護職員夜間配置加算16対1、12対1の施設基準を取得することで手厚い看護を目指す。 内科系の医師不足。 医師の負担軽減を鑑み複数主治医制を目指す。	二次救急の更なる充実化 回復リハビリテーション領域の充実化 在宅業務の充実化(サ高住、有料老人ホーム、訪問介護事業)					○		二次救急の受け入れを更に充実する。 在宅事業の充実化。
4	医療法人社団正和会 馬淵病院	大垣市		未回答							
5	大垣市民病院	大垣市	【現状、特徴】 西濃医療圏の中核基幹病院として、高度で専門的な医療施設や医師・歯科医師臨床研修病院の環境を整備している。 二次医療圏唯一の救命救急センターの運用や、地域がん診療連携拠点病院(高度型)、地域災害拠点病院、岐阜県地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院等の指定等を受け、質の高い医療を提供している。 【課題】 医師を安定的に確保するため、地方都市にある本院が研修医に選ばれる病院になり、いかに医師に定着してもらえるかが課題です。また、老朽化する施設に対し求められる医療機能に応じた計画的な整備が必要です。	西濃医療圏の高度急性期・急性期医療、特に救命救急、災害拠点、がん拠点、周産期、小児救急等の中心的役割を担います。		○					急性期機能の病床について適正病床数を検討している。
6	名和病院	大垣市	【現状、特徴】 「信頼される病院を目指して」を基本理念として、明るい医療・安心してかかれる医療・親身になって尽くす医療・負担のかからない医療を四本柱として努力しております。 【課題】 看護師・ヘルパーの確保が急務であるが、苦戦している現状である。又、建物・設備等老朽化しており随時対応していますが、建て替え等検討が急務である。	地元に着目した医療に注力するとともに、急性期医療後の回復期・慢性期の病院としての役割(看取り)の求められいる。						○	建物・設備等の老朽化に対する方針が決定していない。

NO	医療機関名	所在地	自施設の現状等	2025年に向けて担うべき役割等	病床機能等の見直し						
					① 病床 機能	② 病床数	③医療 機関の 役割	④ 連携、 再編	⑤ その他	⑥ 現状 維持	具体的な内容
7	大垣病院	大垣市		未回答							
8	海津市医師会病院	海津市	<p>【現状、特徴】 海津市唯一の一般病院として、急性期から、サブアキュート、ポストアキュートまで幅広く対応している。地域医療の拠点として、地域のニーズに合わせた医療提供を心掛けている。</p> <p>【課題】 急性期、回復期だけでは十分なニーズにこたえているとはいえず、慢性期・医療依存度の高い要介護者への対応も含めて検討する必要がある。</p>	急性期・回復期の対応はもちろんのこと、医療依存度の高い要介護者への対応も必要と考える。	○		○	○			<p>①について、地域の状況を見極めつつ、急性期から慢性期を広く対応できる体制へ。具体的な時期は未定。</p> <p>③について、地域に求められる診療体制、医師の専門性を活かした役割を担う。</p> <p>④について、医師会病院の特性を最大限活用し、地域の診療所と連携し、日常外来診療を診療所にお願ひし、入院及び検査を当院で行うなどの役割分担をする。いずれも構想であり、具体的な時期は未定です。</p>
9	岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐阜・西濃医療センター 西美濃厚生病院	養老町	<p>【現状、特徴】 ・当院は西濃圏域の西南地域の医療を担っており、養老町を中心に、大垣市西南部・海津市北部から多くの患者の受け入れを行っています。 ・当院の病床機能としては、三次医療機関(基幹病院)との連携を前提に必要な急性期機能を有した上で、回復期、慢性期及び在宅医療等に積極的に取り組み、各医療機関及び介護施設等、関係機関と連携することで西南地域において、切れ目のない医療を提供し地域の中核病院としての役割を担っています。 ・在宅後方支援病院として、在宅医療を担う地域の診療所や介護福祉施設等からの緊急時の患者の受け入れを積極的にを行っています。 ・揖斐厚生病院との病床再編を見据え、第1段階として、令和2年4月に当院の慢性期病床の一部を介護医療院へ機能転換を図り運用している。引き続き、新病院(西濃厚生病院)が開院する令和5年10月までは現状の医療提供体制を維持していきます。</p> <p>【課題】 ・常勤医師18名(歯科医師1名含む)が在籍し、一部診療科においては非常勤医師の対応となっています。また、常勤医師の高齢化が進んでいることから、医師の確保が急務となっています。 ・病床再編に向けて、新病院(西濃厚生病院)との機能分担・連携強化に向けた診療機能・診療体制の再構築を図る必要があります。</p>	<p>・西南濃地域の医療・介護需要を見据えて、回復期・慢性期、介護医療院を中心とした医療・介護提供体制を担う。 ・へき地拠点病院として上石津診療所へ週5日医師派遣を行っており、引き続きへき地医療の充実に努める。 ・次の役割を担うべく努める。 「地域に必要とされる診療体制の維持」「救急医療体制の維持」「災害時の医療提供体制の維持」「地域医療機関等との連携の推進」「予防医療の促進」「地域包括ケアシステム構築に向けた取組みの推進」「新型インフルエンザ等特別措置法に基づく指定公共機関としての体制の確保」「鳥インフルエンザ、CSF(豚熱)、新型コロナウイルス感染症対応の体制確保」</p>	○	○	○	○			<p>・西濃医療圏にある当院(養老町)と揖斐厚生病院(揖斐川町)の病床再編を段階的に行い、令和5年10月に大野町に急性期・回復期を中心とした新病院の開院を予定している。 ・当院は、病床再編の第1段階として、令和2年4月から慢性期病床の一部を介護医療院へ機能転換を図った。 ・新病院の開院に伴い、当院の急性期病床は新病院へ移床させるとともに、新病院開院後は西南濃地域の医療・介護需要を見据えて、病床機能を回復期(105床)・慢性期(35床)・介護医療院(56床)として引き続き運用していく予定としている。</p>
10	博愛会病院	垂井町	<p>【現状、特徴】 新型コロナウイルス感染症の蔓延以前から、外来・入院患者数の減少傾向が続いている。</p> <p>【課題】 医師不足、看護師・介護福祉士の不足。</p>	地域における急性期及び慢性期医療を担えるように体制を整える。	○	○					入院患者数の減少に合わせた病床再編を模索中。

NO	医療機関名	所在地	自施設の現状等	2025年に向けて担うべき役割等	病床機能等の見直し						
					① 病床 機能	② 病床 数	③医療 機関の 役割	④ 連携、 再編	⑤ その他	⑥ 現状 維持	具体的な内容
11	岐阜県厚生農業協同組合連合会岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院	揖斐川町	<p>【現状、特徴】 当院は、西濃圏域北部地域唯一の総合診療機能を有する病院です。3次医療機関との連携を前提に、急性期から回復期・慢性期・在宅医療、予防医療と地域の中核病院として切れ目のない医療を提供しています。</p> <p>【課題】 「本館・外来棟」が耐震基準を満たしていないこと、医師不足による非常勤診療科増加のため、救急患者の受入制限を行わざるを得ない状況です。地域に必要とされる医療を確保するため、施設整備も含めた医療提供体制を早急に整備する必要があります。</p>	<p>限られた医療資源のなかで「地域完結型」の医療を提供する役割を担います。また、高齢化が急速な勢いで進むなか、西濃医療圏北部の医療需要に応えるべく、患者の利便性を踏まえた医療提供体制を確保する。</p> <p>・4疾病への取り組み ・救急医療への取り組みと提供体制の確保 ・へき地医療拠点病院としての役割 ・地域医療機関との連携 ・地域包括ケアシステムにおける中心的な役割 ・災害時の医療提供体制の維持、確保 ・予防医療の促進 ・医師確保を含む診療体制の維持</p>	○	○	○	○			<p>令和5年10月に西美濃厚生病院との病床再編により、揖斐郡大野町に「西濃厚生病院」として新病院を開院します。28診療科を標榜、病床数は400床で、一般急性期293床、回復期リハビリ病棟41床、地域包括ケア病棟41床、西濃医療圏で初となる緩和ケア病棟25床を設置し病床機能を高めめます。また、最新の設備と医療器械の導入、放射線治療、ロボット手術などあらたな治療にも取り組み、診療機能を充実させます。</p> <p>さらに、災害拠点病院としての役割を担うことで関係機関・行政と連携し、災害時の医療提供体制を確保します。</p>
12	新生病院	池田町	<p>【現状、特徴】 当院は、池田町・大野町・神戸町内の唯一の病院として事業を行い西濃地区の急性期医療の中心である大垣市民病院と後方支援病院として連携している。また揖斐厚生病院を紹介先病院とする地域のかかりつけ病院としての位置づけを持っている。</p> <p>【課題】 近隣近郊には高齢者施設が数多く存在し施設入居者や在宅生活者の状態悪化時には救急対応が必要になり、症状軽快後は施設や自宅への復帰を目標とした医療提供が必要となる。その機能を十分果たすためには、医師・看護師等の人員確保が大きな課題となっている。</p>	<p>地域内の高齢者に必要な医療介護サービスをシームレスに提供するため、当院・近隣クリニック・高齢者施設・居宅サービス事業者等が協力する体制が必要である。当院は、自治体とも協力し中心となって体制確立を推進する。</p>	○			○			<p>令和4年7月現在、一般病床51床のうち20床を地域包括ケア病床として運用しているが、新病棟建設に伴い病床機能を地域の医療ニーズに応じるための地域一般入院料2を届出している急性期病床から地域包括ケア病床へ20床の病床機能変更を計画している。当院は地域住民のかかりつけ病院としての位置づけ、揖斐厚生病院を紹介先病院として地域医療の推進を図る。また、大垣市民病院で初期治療を終了した地域内患者の受け入れ先病院として医療連携を推進する。</p>
13	市川外科	大垣市	<p>【現状、特徴】 40年地域のかかりつけ医としての役割に加え、2016年からは新たに乳腺科、婦人科、皮膚科など女性のための検診、診療に力を入れている。がんの終末期に緩和ケアが必要な患者さまの入院受け入れを地域病院と連携しながら積極的に行っている。</p> <p>【課題】 さらに専門的な医療を提供できるような体制を整える。緩和ケアにおいて患者が過ごしやすいような入院環境を整える。</p>	<p>女性のための検診、医療、健康を提供する。緩和ケアが必要な患者さまにおいて、在宅療養、入院を積極的に受け入れている。</p>			○				<p>③乳腺外科について手術の提供を予定</p>
14	クリニックママ	大垣市	<p>【現状、特徴】 ・不妊治療 ・産科婦人科</p> <p>【課題】 人員確保</p>	<p>・不妊治療による出生数の増加 ・分娩場所の確保</p>						○	<p>満床になることがあり、本来は病床を増やした方が良いと思いますが、診療所は19床以上増やせないため現状維持となります。</p>
15	山岸マタニティクリニック	大垣市		未回答							
16	近藤眼科医院	大垣市		未回答							

NO	医療機関名	所在地	自施設の現状等	2025年に向けて担うべき役割等	病床機能等の見直し							
					① 病床 機能	② 病床 数	③医療 機関の 役割	④ 連携、 再編	⑤ その他	⑥ 現状 維持	具体的な内容	
17	森外科医院	大垣市	【現状、特徴】 岐阜県唯一の肛門専門施設として、手術まで行っている。 療養病床は看取りや在宅での介護困難などを受け入れている。 【課題】 診療報酬が低く、経営不安定 看護師、補助員などスタッフ確保困難	肛門専門医院としての専門性を高め取り組んでいく。							○	今のまま特に変更する必要を感じない。
18	稲川耳鼻咽喉科	大垣市	【現状、特徴】 地域のかかりつけ医として、プライマリーケアを提供 【課題】 職員の確保	現状を継続していく							○	現状は入院患者無く休棟状態ではあるが、今後の不測の事態に備え、当面は病床数を維持していく予定。
19	もりレディースクラブクリニック	大垣市	【現状、特徴】 他地域の閉院に伴う分娩数の増加 【課題】 医師不足と高齢化	検討中。 分娩数が増加してきているが、医師不足と高齢化により対応が難しいことから、今後当院で担うべき役割を検討していく。							○	今後、当院で担うべき役割を検討中のため
20	むらいクリニック	大垣市	【現状、特徴】 睡眠時無呼吸症候群やその他睡眠障害の診断のための終夜睡眠ポリソムノグラフィー検査を中心に行っている。 【課題】 人員不足あり、補充することにより医療の充実をはかる。	睡眠は多種多様の疾患と関連があり、精神身体に影響を与える。睡眠の状態の評価を行うことにより治療を行い社会に貢献する。							○	主に検査(終夜睡眠ポリソムノグラフィー検査)を行っており、治療や療養目的の入院施設ではない。
21	奥田整形外科	大垣市		未回答								
22	大垣整形外科	大垣市		未回答								
23	医療法人社団恵和会 ひばりクリニック	海津市	【現状、特徴】 地域医療(とりわけ所在地市内)において、透析、小児科は、少数である為、これまで以上地域に貢献出来る様努める。 【課題】 クリニックの同一敷地内に、介護保険サービス(デイサービス・訪問介護・居宅・有料老人ホーム)を併設しており、多様なニーズに対応しているが、「訪問看護」サービスが未実施(未整備)な所を改善していきたい。	上記の内容を踏まえ、現診療科の維持発展と在宅サービスの充実。							○	法人単体では困難な部分を他の法人又は医療機関との連携を強化することで補完する様な体制整備の見直し。
24	小坂井レディースクリニック	海津市	【現状、特徴】 地域医療を中心に診療していく予定である 【課題】 出生数の低下により小児の受診は少なく婦人科及び老人医療に方向転換をする予定である	健診医療及びワクチン接種を充実させていく方針							○	後継者の判断により今後を決める
25	関ヶ原クリニック	関ヶ原町	【現状、特徴】 急性感染症・めまい等短期入院 在宅医療の充実 【課題】 医師・看護師不足より、短期間の入院なら対応可能であるが、数日間の入院となれば、外来・在宅医療もあり入院シフトが組みにくい。	関ヶ原町では、病院の閉鎖及び病院から有床診療所への縮小があり、診療科及び病床が激減した。今後も在宅医療を充実させ、急性感染症・めまい等の入院は維持していきたい。		実施済み					○	②令和4年7月 急性期病床18床から5床に削減 ⑥入院を行いたいのが外来・在宅医療もあり、慢性的な医師・看護師不足より対応が出来ていない。

NO	医療機関名	所在地	自施設の現状等	2025年に向けて担うべき役割等	病床機能等の見直し						
					① 病床 機能	② 病床数	③医療 機関の 役割	④ 連携、 再編	⑤ その他	⑥ 現状 維持	具体的な内容
26	国保関ヶ原診療所	関ヶ原町	<p>【現状、特徴】 国保関ヶ原診療所は「地域住民の健康と福祉を守り、心の支えとなる診療所を目指す」という理念のもと、地域住民の健康と安全安心を守るため、関ヶ原町を中心とする住民および家族の皆様に医療を提供し、信頼に応えるべく努力して参りました。しかしながら、医師の地域偏在に伴う医師不足、診療報酬の引き下げ、地方交付税の減額による自治体の財政悪化など、自治体病院を取り巻く環境が厳しくなり、病院から診療所へ転換後も経営状況が厳しい状況であり、また、昨今の慢性的な医師不足、看護師不足により、わずか19床である現在の病床規模の維持すらも難しく、経営環境はますます厳しくなっています。</p> <p>【課題】 一番の課題は慢性的な医師不足、看護師不足が大きな問題となっており、現在の人員体制および病棟構成では損益を大幅に改善することが困難な状況になっています。また、現状において看護師の確保策がなく、病棟の維持が困難となったこと及び町からの繰入金が増額が困難なことから、事業規模の縮小を含めた抜本的な構造の見直しも今後必要になってくると思われる。</p>	<p>岐阜県の地域医療構想では、当所の位置する西濃医療圏は病床過剰地域であり、2025年にかけて急性期病床・慢性期病床の縮小、在宅医療の充実が求められています。このような状況から、当所としては平成29年度に病院から有床診療所への転換したことから、在宅医療の充実を図り、関ヶ原町の地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みを今後も引き続き行っていかなくてはならない。</p>		実施済み				○	当所としては平成29年度に病院から有床診療所への転換により病床数を大幅に減らしており、現状において看護師の確保策がなく、病棟の維持が困難となったことにより現在は休床となっているため。
27	田中医院	神戸町	<p>【現状、特徴】 病院から有床診療所、そしてH28年より無床としました。急性期を受け入れる事はむづかしく、患者さん達の介護の要求にもこたえられず、外来診療のみをしています。</p> <p>【課題】 在宅希望もそれなりにあり、病院退院後の往診は積極的に引き受けるようにしています。</p>	<p>我々夫婦73才で、40代の娘二人に受け継いでもらいたいです。それぞれの夫も医師で病院勤務をしており、娘二人で現在の状態を回すのは難しい。ただ地域の方々の希望にも添いたいとは思っています。</p>						○	現在、入院病棟は休棟中であり、2025年中に廃止予定としております。
28	高田医院	神戸町	<p>【現状、特徴】 ・婦人科を中心とした内科的診療、院内助産 ・子宮がん検診、特定検診、ワクチン接種、産後ケアへの参加</p> <p>【課題】 ・以前分娩を扱っていた為、現状の建物施設をどのように維持するかが課題</p>	<p>・誕生から老年まで幅広く、婦人を中心として地域医療に貢献したい</p>		○					② 急性期病床2床を廃止し、病児保育施設と治療機器設置スペースに転用
29	黒川胃腸科外科クリニック	神戸町	<p>【現状、特徴】 地域包括ケアの中での最後の看取りが在宅でできない家族の最後の場所としての機能(特に高齢者)</p> <p>【課題】 今後は現状よりもっと在宅での見取りのできない家庭が増える(家族全員が仕事をしている、つまり息子夫婦が共働き等)と思われる。現実に家族の都合で在宅で見取ができない場合の受け皿が少なすぎる(医療が必要なため高齢者施設では不可能)</p>	<p>在宅での見取りのできない家庭が増える中、どこまで今の機能を維持できるのか、受け入れ希望者が増加すると推測されるが、特に医療を必要とする場合の受け皿となっていきたい</p>	実施済み	実施済み					R4年3月に介護療養病床を介護医療院へ転換(14床)急性期病床(5床)はそのまま残す
30	山中ジェネラルクリニック	安八町		未回答							
31	いびレディースクリニック	揖斐川町	<p>【現状、特徴】 地域の分娩を担う。乳幼児の予防接種、診療を担う</p> <p>【課題】 特になし</p>	地域の分娩を担う。乳幼児の予防接種、診療を担う						○	担うべき役割に変更がないため。

NO	医療機関名	所在地	自施設の現状等	2025年に向けて担うべき役割等	病床機能等の見直し						
					① 病床 機能	② 病床数	③医療 機関の 役割	④ 連携、 再編	⑤ その他	⑥ 現状 維持	具体的な内容
32	小林医院	揖斐川町		未回答							
33	小森眼科	大野町	<p>【現状、特徴】 高齢化に伴い、白内障の患者様が多くなり、手術は白内障中心に日帰り手術を行っている。</p> <p>【課題】 緑内障でも点眼でコントロールできなく悪化していく場合は、岐阜の緑内障専門の病院に照会することになる。</p>	高齢化による白内障手術をする患者様が多くなり、地域住民のためさらに手術を施行していく予定である。						○	世の中の流れは人口減少に拍車がかかっているが、当院としては現状維持が出来るようにしていきたい。
34	まつばら眼科	池田町		未回答							